

TDU Agora



令和元年度 大学院修了・大学卒業 学長メッセージ1

CRC(研究推進社会連携センター)フォーラム3

CONTENTS

TOPICS 4 キャンパスよもやま情報 7

中学校・高等学校 6 News 8

Information 11



神田キャンパス跡地に設置の本学記念碑

特集

令和元年度
東京電機大学大学院修了
東京電機大学卒業
学長メッセージ

自分で考え、批判し、判断し、
失敗を恐れずに行動し、人の心を理解する、
「技術は人なり」のマインドを備えた技術者たらんことを



東京電機大学長
射場本 忠彦

本日ここに修了・卒業される皆様に心からお祝い申し上げます。

修了・卒業される皆様には、東京電機大学において科学技術に関する研鑽をつまれた証として、博士・修士・学士の学位記が授与されます。本学で研究・学業に専心された時間は、これからの長い人生のほんの一部分にしすぎませんが、東京電機大学で皆様が身に付けた先端科学技術に関する知識・手法ならびに適用能力は、皆様の今後の社会貢献を確かなものにする 것과確信しています。

東京電機大学は、創立以来112年となる歴史を重ね、建学の精神「実学尊重」と教育・研究の理念「技術は人なり」を基に、本学の使命「技術で社会に貢献する人材を育成する」を实践し、高次の専門性を持つ高度理工学専門家を多数輩出しており、理工学分野での社会貢献は多大であります。

さて、本年2020年は東京で五輪・パラリンピックが開催されます。前回1964年の日本は高度経済成長のさなかで、後に、世界第2位の経済大国となって奇跡の復興を世界に示すこととなりました。一方、今回は米中の経済冷戦による世界景気の減速、中東諸国・香港・朝鮮半島など不透明感が随所に漂う世界情勢下にあります。また日本国内では少子化と高齢化社会の重層は必定です。更に「2050年に80%削減・脱炭素社会」というパリ協定への野心的宣言の反面、「石炭中毒」と世界からの抗議を受けつつも、環境政策とエネルギーセキュリティ政策の二兎を追う形での課題解決が急務です。

このような多様で複雑な社会背景下においても、安全で安心、豊かで利便な社会の形成を実現すべく、各種のビッグデータに支えられた人工知能(AI)や、IoT(Internet of Things:モノのインターネット)技術の伸張は、好むと好まざるに関わらず進んでいきます。高精度・高速度・連続稼働に適した製作労務や特定の定型業務などにおける代替、即ち、「AIに仕事を奪われる」可能性は少なくないと予測されています。

ただ、忘れてならないのは、AIは「知能部分の外部化」はできても「意識部分のデータ化」はできない、つまり「方向性を決める」あるいは「責任を取る」ことなどは、人間にしかできないのです。

従って、これまでも増して高い専門力が求められるだけではなく、「知恵と感性」をものづくりの土台に載せて「協創」していくことが重要となります。ハードウェア面のみならず、ソフトウェア面、さらには社会の制度の見直しや、人間の心理や行動などを見据えた、

幅広い視野の提案力と技術力が不可欠です。大切なのは、何が正しいか、何をすべきかを、自分で考え、批判し、判断し、失敗を恐れずに行動することです。人の心を理解し「技術は人なり」のマインドを備えた技術者として、世の中に貢献されることを切望しています。

皆様は東京電機大学で研鑽し、社会貢献の基礎を身に付けました。東京電機大学校歌にあるように「大いなる時空をめざし」「新しい文化を創り」、人類を安全安心に、そして心豊かにしてください。

結びになりますが、今まで慈しみ、温かくご子女の成長を見守ってこられたご家族、ご関係の皆様にご心からお祝いとお慶びを申し上げます。修了・卒業される皆様のこれからの明るい将来を祈念して、私からのなむけの言葉といたします。

令和2年3月吉日

射場本 忠彦 (いばもと ただひこ)

プロフィール (主な経歴)

1972年北海道大学工学部卒業。1977年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。東京電力株式会社を経て、1984年東京電機大学工学部建築学科に着任。学生部次長・部長、建設技術研究所所長、工学部第一部長、理事、常務理事を歴任し、2019年10月、学長に就任。建築における熱環境および建築設備を専門とし、省エネルギー関係の空調システムを研究。本学東京千住キャンパスに設置している連結式縦型蓄熱槽は、射場本学長の研究室が開発した技術を実用化したもの。公益社団法人空気調和・衛生工学会会長、IEA世界エネルギー機関・蓄熱実施協定・執行委員会・日本代表等を務め、令和元年度東京都功労者表彰(技術振興功労)を受賞した。

東京電機大学校歌

一
 日輪は 天にかがやき
 白雲は 富士に沸きたつ
 朋がらよ 眉あげよ
 大いなる 歴史のなかで
 われら新しい 真理を創る
 東京電大 われらが母校
 あ、讃えん哉
 その伝統

二
 天体は いよよ近づき
 めぐる四季 時間は早し
 朋がらよ 夢もてよ
 大いなる 時空をめざし
 われら新しい 文化を創る
 東京電大 われらが母校
 あ、燦然たり
 その未来



東京千住キャンパス



埼玉鳩山キャンパス



千葉ニュータウンキャンパス



多くの聴講者が集まった会場

特集 2

CRC(研究推進社会連携センター)フォーラム

異常気象時代、水害から身を守る意識の醸成

～台風19号を踏まえて～

研究推進社会連携センター（研究推進部）

1月28日に東京千住キャンパスにて、第20回CRCフォーラムを開催しました。研究推進社会連携センターでは、各分野で活躍している本学研究者の最新知見を紹介し、研究者同士の連携やさらなる深化への支援として、また、本学での研究を社会に還元する場として、年に3回程度のフォーラムを開催しています。

昨年は台風15号、19号が関東地方を直撃し、甚大な被害をもたらしました。国としても様々な対策が講じられていますが、最終的には自らが判断し、適切に避難しなければいけない難しさを感じられた方も多かったと思います。そこで、今回のフォーラムは「水害から身を守る意識の醸成」をテーマとしました。

はじめに、国土交通省関東整備局防災室室長の塚本一三様をお招きして、日本の国土の特徴、最近の災害の状況、国としての災害対策についてお話を頂きました。続いて、学内の研究者6名がそれぞれの専門分野から被

害状況の分析や水害対策など、取り組んでいる研究内容の紹介をしました。地盤や治水が専門の教員をはじめ、CGや地球観測衛星、オープンデータ等、多様な研究領域からのアプローチがあり、本学の研究の多様さが感じられました。また同時に、様々な分野の研究者が共同して対策を行っていく重要性も伝わってきました。

今回は記憶に新しい台風被害に関するフォーラムであり、いつも以上に様々な方に関心を持って頂きました。出席者は防災関連企業や行政の方々をはじめ、近隣にお住まいの方々など多岐にわたり、会場は満席でした。皆様が熱心に聴講され、実施したアンケートでもフォーラムへの謝辞がたくさん寄せられました。本フォーラムにより、聴講された皆様が少しでも「自分の命を守る」意識を深め、また、発表された研究がさらなる進化をすることで、より安全安心な社会が実現することを願っています。



レジリエントスマートシティ研究所所長の小林亘教授



理工学部建築・都市環境学系 中井正則教授



国土交通省の堤防調査委員長を務めた安田進名誉教授



実証実験の新聞取材の様子

「おたりスマートソンププロジェクト」第1期を終えて ～産官学連携による実証実験が終了～

システムデザイン工学部 情報システム工学科
松井 加奈絵 助教

水田水位監視システムを中心としたこのプロジェクトについて、指導教員として報告させていただきます。「おたりスマートソンププロジェクト」は、情報環境学部情報環境学科の河西達彦さん、西垣一馬さん(2020年3月卒業)が受賞したSigfox アイデアコンテストから始まりました。京セラコミュニケーションシステム株式会社(KCCS)が提供するIoTネットワーク「Sigfox」を導入している長野県北安曇郡小谷村の地域課題解決のために、ふたりの考えた水田管理システムアプリケーションCMS for Paddyの実証実験を行うことになり、KCCSモバイルエンジニアリング株式会社、小谷村役場、本学との産官学連携プロジェクトに発展しました。

このプロジェクトの特異な点は、学生自身が自分の研究題材と資金を自分の力で獲得した点にあります。短い教員生活ではありますが、学部生がここまで大きなプロジェクトに発展させたケースは初めてでした。プロジェクトリーダーを務めた河西さん、西垣さんの

頑張りにより、難易度の高い屋外実験を無事に終え、実験後のデータ解析を含めた報告書が提出がされました。その成果が認められ、小谷村議会で成果発表を行いました。今回は本学の実学尊重の精神を多めに社会に発揮する機会に恵まれたとともに、学生という制限を超えて、ふたりと一緒に仕事をしたいという企業の方々や役場の皆さまの声を聞くことができました。

この成果を受け、2020年4月には新しい研究要素やステークホルダーを含んだ第2期が始まります。このような素晴らしい次のスタートを切ることができたのは、ふたりの努力、創意工夫、またプロジェクトを支えてくれた研究室のメンバーのおかげです。また、大学にはこのような機会に恵まれるに至った「場」を提供していただきました。今後、多くの仲間がこのような出会いを経て、新しい学びと研究の場を作り出すきっかけとなることを願います。



プロジェクトリーダーの河西さん(左)、西垣さん(右)



小谷村の皆さんと



小谷村議会での成果発表



中村ものづくりセンター長の講演

第16回産学連携交流会 with 東京電機大学 ～ものづくりセンターの紹介と 産学金公連携の進め方・注意点～

研究推進社会連携センター(産官学交流センター)

研究推進社会連携センター「産官学交流センター」では、地域企業の活性化等を目的として産学金公連携活動を推進しています。

その一環として、2020年2月13日に東京千住キャンパスにて、足立区と連携した「第16回産学連携交流会 with 東京電機大学」を開催しました。今回のテーマは「ものづくりセンターの紹介と産学金公連携の進め方・注意点」とし、中小企業の方々を中心に学内外合わせて54名の参加がありました。講演後には、ものづくりセンターの見学も実施し、盛況のうちに終わりました。次回の産学連携交流会 with 東京電機大学にもご期待ください。

プログラム内容

● 講演1

「発想をカタチに！ 自由な発想と確かな技術で“ものづくり”を目指して」

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 教授
ものづくりセンター 中村 明生 センター長

● 講演2

「技術をカタチに！ 当たりを付けたWin-Win“産学連携”」

ものづくりセンター 帯川 利之 副センター長

● ものづくりセンター見学



ものづくりセンター見学風景



電大OB・OGの説明を聴く学生

「第6回卒業生による 仕事研究セミナー」開催 ～企業253ブース、 1,240名の学生が参加～

学生支援センター

2月8日、九段下のホテルグランドパレスに於いて、「第6回卒業生による仕事研究セミナー」を開催いたしました。本セミナーは、多くの電大OB・OGからも情報を得られることが特徴の、本学最大規模の就職支援行事です。名称変更前からの開催を合わせますと、今回で42回目となる歴史ある行事です。

第1部面談会では、就職活動を控える学部3年生と修士1年生を中心とした1,240名の学生が出席し、企業253社との面談を実施しました。参加学生は各々約5社と面談することができました。

参加学生からは、「近い距離で話ができ良かった」、「志望企業との比較ができた」との感想があり、本格的な就職活動に向けて、有意義なセミナーとなりました。

第2部は「卒業生と大学関係者との懇親会」を実施し、参加企業で活躍する卒業生と大学教員約80名との活発な情報交換が行われました。

来年度につきましても、本セミナーを実施し、充実した就職支援を継続していきたいと思っております。



射場本学長の発声で乾杯

課外教育プログラム「ジョブシャドウ」

1月30日、セコム(株)にて課外教育プログラムとしてジョブシャドウを行いました。経済教育団体ジュニア・アチーブメント(JA)が提供しているこのプログラムは、生徒一人が企業の社員一人に数時間「シャドウ(影)」のごとくついてまわり、仕事をする姿を通して会議の熱気や緊張感を感じ、一部の仕事も手伝いながら、仕事の厳しさを体感するというものです。「仕事に打ち込む人の姿」を身近で観察し、やがて訪れる進路・職業選択や将来設計に資することが目的です。

高校1年生の有志40名が参加し、「仕事人が人を動かしているのではなく、人が仕事を動かしている」という現場に直接接することができ、大きな経験となりました。また、自らの働き方について、ロールモデルとなる社員の方々との出会いは、生徒たちにとって何よりの財産となったことでしょう。

(社会科主任 池田巧)



参加者全員での記念撮影



午前、生徒1名に社員1名がペアに



午後は社員1名が1グループを担当しアドバイス

文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」

サイバーセキュリティシンポジウム in TDU 2020を開催 ～研究成果と今後の取り組みについて学内外に報告～

2月17日に東京千住キャンパスにて、「サイバーセキュリティシンポジウム in TDU 2020」を開催し、110名の方にご参加いただきました。

平成29(2017)年度に採択された事業「グローバルIoT時代におけるセキュアかつ高度な生体医工学拠点の形成」に関して、今までの活動で得られた“研究成果”とその成果を基に“今後どのように取り組んでいくか”について本学の教員より発表及び展示を行いました。

発表に先立ち、招待講演として、東京大学大学院 佐久間一郎教授より、医療機器におけるサイバーセキュリティに関する講演「ICT AI応用医療機器に関する国内外での規格・ガイドラインの動向」がありました。

展示では、成果の一つである「敷布型マルチバイタルIoTモニタプロトシステム」について、その仕組みを理解しやすいようセンサやネットワークに関する主要な要素技術毎に研究者が説明をしました。講演を聴講された多くの方が展示会場に足を運んでくださり、今後の方向性や共同研究の可能性などについて、活発な意見交換を行うことができました。



東京大学大学院 佐久間一郎教授の講演



多くの方が熱心に説明を聞く展示会場

東京千住キャンパス

商工懇話会囲碁部との交流



昨年末、全日本学生囲碁王座戦にて本学の電子・機械工学系の松原仁さんが準優勝したのを受け、2月8日に東京千住キャンパスで松原さんと商工懇話会囲碁部との交流会が行われました。この交流会は商工懇話会囲碁部の部長である石塚理事長から松原さんへ直接の依頼により実現しました。

交流会には商工懇話会囲碁部から7名が集まり、松原さんによる決勝戦の対局内容の解説の後、午後より対局を行いました。世代を超えた囲碁を通しての交流は、参加した皆さんにとって充実した時間となったようです。

(総務部 岡本)

埼玉鳩山キャンパス

国際野外の表現展2019-20開催中！



理工学部建築・都市環境学系 岩城研究室の作品

今年も国内外のアーティストの方々が埼玉鳩山キャンパスの自然を活かしたアート作品の制作・展示を行う『国際野外の表現展2019-20』が開催されています。

作品の展示期間は2020年7月31日までとなっています。展示されている作品をご覧になりながら、春の息吹が感じられる自然豊かな埼玉鳩山キャンパスを散策されてはいかがでしょうか。

(理工学部事務部 長坂)

東京小金井キャンパス TDU 4D-Lab

中学校・高等学校で行われている学年(中2～高2)横断型の課題探求学習「4D-Lab」。大学の研究室のように、テーマに分かれたグループを通じてそれぞれ活動を行っています。

2月22日は今年度最後の4D-Labとなりました。この日は、東京電機大学から5名の講師の先生をお招きして、中学校1年生に出張講義をしていただきました。その中に地震に興味をもった生徒がおり、基礎Labの振り返りシートを通じて、地盤工学の先生とのメッセージ交流が生まれていました。(中学校・高等学校事務室 中野)



「電大ガールズ」D-girls

電大ガールズは、新体制になってから最初のイベントであるオリエンテーションに向けて準備をしています。今年は4月3日、4日に電大ガールズのブースにて活動内容をメンバーが説明します。電大ガールズに興味がある方、学校生活で不安がある方など気軽にお越しください！

また、オリエンテーション後には食堂にて毎年恒例の新入生歓迎会を行う予定です。新しい仲間に出会えるのをメンバー一同楽しみにしています！



未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 2年 リーダー 後藤 優華

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。

**中村 大さん**(4年)

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

スマートフォンアプリ「AWMS Mobile」におけるサーバ証明書検証不備の脆弱性を発見

脆弱性番号: CVE-2020-5526, JVN#00014057

令和2年1月31日

Android アプリ「MyPallette」におけるサーバ証明書検証不備の脆弱性を発見

脆弱性番号: CVE-2020-5523, JVN#28845872

令和2年1月28日

**奥田 顕浩さん**(修士1年)

未来科学研究科 情報メディア学専攻(ビジュアルコンピューティング研究室)

第3回 東京公共交通オープンデータチャレンジ

審査員特別賞

令和2年1月30日

映像情報メディア学会

2019年度学生優秀発表賞

令和元年12月13日

**野口 和宏さん**(4年)

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科(コンピュータネットワーク研究室)

第3回 東京公共交通オープンデータチャレンジ

INIAD特別賞

令和2年1月30日

**森田 慎一郎さん**(博士1年)

先端科学技術研究科 先端技術創成専攻(知能機械システム研究室)

International Workshop on Advanced Image Technology 2020 (IWAIT 2020)

Best Paper Award

令和2年1月7日

**理工学部蹴球部**2019年度 埼玉県大学サッカー連盟表彰【**チーム表彰**】2部リーグフェアプレー賞**小林 理久さん**(1年) 理工学部 建築・都市環境学系2019年度 埼玉県大学サッカー連盟表彰【**個人表彰**】2部リーグ新人王／2部リーグ得点王

令和元年12月21日

**花房 美咲さん**(修士1年)

未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻(ロボティクス研究室)

第20回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会(SI2019)

優秀講演賞

令和元年12月27日

**海野 佳月さん**(修士1年)

工学研究科 情報通信工学専攻(ネットワークロボティクス研究室)

第20回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会(SI2019)

優秀講演賞

令和元年12月27日

**野村 勇斗さん**(修士2年)

理工学研究科 建築・都市環境学専攻(地盤防災・環境工学研究室)

第16回 地盤工学会 関東支部発表会 GeoKanto2019

優秀発表者賞

令和元年11月27日

**金子 真也さん**(修士2年)

工学研究科 機械工学専攻 先端機械コース(ナノ精度加工研究室)

精密工学会 2019年度秋季大会

ベストプレゼンテーション賞

令和元年9月6日

協定校、元培医事科技大学が来訪

～台湾より教職員・学生合わせて19名がキャンパスへ～

国際センター

1月16日、本学の協定校である元培医事科技大学(台湾)の教職員・学生19名が東京千住キャンパスを訪問しました。統括副学長 平栗健二教授、国際センター長 宍戸真教授、理工学部 張建特別専任教授らが出迎え、射場本忠彦学長が表敬訪問を受けました。

元培医事科技大学は台湾新竹市にあり、医療、健康分野を中心とした3学部からなる私立の医学技術専門大学です。

一行はキャンパス内の、ものづくりセンターや各号館の主な施設の見学後、総合研究所 土肥健純特命教授および先端機械工学科 桑名健太准教授による「東京電機大学の医用工学とブランディング事業」と題した講義を受講しました。台湾の医用工学分野でトップクラスのレベルである同大学の教職員・学生は熱心に講義に耳を傾け、先端技



医用工学についての講義後の記念写真

術ロボットの普及やAIの普及と臨床工学技士の今後のあり方等、予定時間を超えてまで様々な質問がありました。

その後は、本学の台湾出身の留学生も加わり、学生食堂にて昼食を取りながら、交流を深めました。今後も本学の教育研究と大きく重なる分野を中心に、教職員・学生間の交流を促進できるように支援していきたいと思えます。

校友会だより



本学の母体「電機学校発祥の地」碑の設置

以前、神田キャンパスと神田警察署の間にある小径に設置されていた「電機学校発祥の地」碑は、平成24年、東京電機大学の東京千住キャンパス移転と神田キャンパス地区の再開発に伴い、一時的に撤去保管されました。

あれから8年が経ちました。神田キャンパスだった地に再び「電機学校発祥の地」碑が「東京電機大学」碑とともに設置されました。設置場所は、かつて神田キャンパス7号館のあった辺りの「ラーメン龍岡」の向かいになります。



出版局 新刊のご案内

今回は、多くの学校で採用されている教科書と、吉川先生の資格試験書、著名な先生の新刊2点です！



電気法規と電気施設管理 令和2年度版

竹野 正二 著
A5判 328頁 2,970円

令和元年中に行われた改正や、その他の法改正の内容を盛り込む。電気関係の法令に重点を置き、電気関係の初学者向けにやさしく解説。



第一級陸上無線技術士試験問題集 第4集

吉川 忠久 著
A5判 360頁 3,190円

最新の出題傾向を分析し、掲載問題を全面的に見直し。間違いやすい問題には詳しい解説と解法のポイント・テクニックを記載。

★出版局ではメールマガジンを配信しております。ご希望の方は、当URLよりご登録ください！
<https://web.tdupress.jp/mailmagazine/>

学生だより

超小型衛星「HATOSAT」 ～第27回衛星設計コンテストで受賞～

理工学部 電子工学系 電子計測研究室



衛星設計コンテスト授賞式

HATOSATとは3Uサイズ(100×100×300[mm])の、2Lペットボトル程度の大きさの超小型衛星です。一般的な衛星と比較し小型ですが、宇宙空間で高速な姿勢制御を行う「Control Moment Gyro : CMG」や地球上に設置された様々なセンサから無線で情報を収集する「Store & Forward : S&F」などのミッションを有しています。研究室ではこれらのCMGやS&Fのミッションを組み合わせた電波不感地帯における生体バイタルデータの収集を構想しています。

私たちは昨年末、第27回衛星設計コンテストに「CMGを搭載したIoT衛星HATOSAT」と題して、様々な有識者からの方からの評価を頂くことを目的に出場しました。衛星設計コンテストは日本中の大学、大学院が宇宙という場所をテーマとして様々なミッションを考えて競うアイデアの部、衛星の全てを設計し、その妥当性やミッションの新規性を競う設計の部、中高

生の応募するジュニアの部の3部門があり、最終審査会に出場できるのは応募者の一握りです。私たちは、徳島県で開催された最終審査会への出場を果たし、設計の部分において電子情報通信学会賞を頂きました。

HATOSATプロジェクトは研究室内で2016年度より構想が始まり、徐々にミッションの選定や各システムの具現化を学部生と院生が、それぞれの研究と絡めながら開発を行ってきました。昨年の4月には今までのプロジェクトの進捗を外部の有識者の方と意見交換する「基本設計審査会」を開催しました。また、衛星設計コンテストにおいても大変貴重なご指摘を頂くことができ、2019年はプロジェクトにとって節目の年となりました。2021年の打ち上げを目指し、電子計測研究室のメンバー一同、今後も頑張っていきますので、応援をよろしくお願いします。(吉成宏太)

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

旧友の変わらぬ声やおでん酒
年越しや残り五秒は息潜む
はやぶさ2帰還の快挙初寝覚

知多(絹川博之)
七美男(松田七美男)
廻子(大園成夫)

新しい時代を拓いた科学・技術 vol.30

グリエルモ・マルコーニ イタリア ● 1874年～1937年

無線通信を開発し、船舶との通信を実現

「科学の最も魅力的な側面は、
それが人間を夢の追求に駆り立ててくれることだ」

“放送の時代”が始まるきっかけに

若い頃から電気に興味をもっていたマルコーニは、ドイツの物理学者ヘルツの実験に興味をかきたてられ、電波を使った無線電信の実験を自宅で始めました。イタリアでは注目されなかったのですが、イギリスの支援を受けて無線電信会社を設立しました。1899年にはイギリスとフランス間のドーバー海峡を隔てた通信に成功。1901年、27歳の頃、大西洋を横断するイギリスとカナダ間、約3200kmの通信でモールス信号の「s」の送信に成功。マルコーニの通信成功は世界に大きな衝撃を与えました。これにより、船舶との連絡が可能になり、さらに技術が急速に進展、無線通信や放送が発展する出発点となりました。



©TDU

無線普及以前には、海上の船と陸の連絡はとれませんでした。1912年、タイタニック号が氷山に衝突したとき、救難信号(SOS)が発信されましたが、付近を航行中の船舶にはまだ無線設備が整備されておらず、受信した船は93kmも離れていました。しかし、現場に急行した船によって700人以上が救助され、船舶無線普及が加速するきっかけとなりました。

Information

生涯学習講座『電大でマナブ』 ～2020年より本格開講～ 研究推進社会連携センター(地域連携推進担当)

本学では、2020年度よりエンジニアの方々に役立つ「基礎」をより深く学ぶためのリカレント講座を開講致します。本講座は、本学の教育・研究成果である「知」を提供し、産業界や地域社会の発展の一助となることを目的に、新たな試みとして立ち上げたものです。「『見る・聴く・学ぶ』ための生涯学習講座」と位置付けており、リカレント(学び直し)を希望する社会人の方を主な対象としています。

日 時 4月25日(土)～9月5日(土)
場 所 東京電機大学 東京千住キャンパス
北千住東口(電大口)徒歩1分
受 講 料 有料(講座によって受講料が異なります)
問 合 せ CRC 地域連携推進センター 生涯学習担当・深澤
TEL. 03-5284-5238 E-mail: crc-chiiki@jim.dendai.ac.jp



社会で活躍するエンジニアのための【短期集中型】基礎の学び直し・再確認講座 主な開講予定講座 2020年度前期(4月～9月)

【基礎講座シリーズ】

開催日時	テーマ	受講料
4月25日(土) 10:30～16:00	「電気回路」を理解しよう! ～導入編～	3,500円/1名
5月16日(土) 10:30～16:00	「電気回路」を理解しよう! ～vol.1 基礎編～	6,000円/1名
6月6日(土) 10:30～16:00	「電気回路」を理解しよう! ～vol.2 基礎発展編 (vol.1の続き)～	6,000円/1名
6月27日(土) 10:00～13:00	デジタル回路で理解しよう マイコンでLEDを点灯させる実習有	3,000円/1名
9月5日(土) 10:00～17:00	アルゴリズム徹底理解 プログラムを組むために知っておくべき「基礎」	10,000円/1名

【応用講座シリーズ】

開催日時	テーマ	受講料
5月16・23・30日(土) 全3回 9:30～12:40	◆電気の基礎理解【理論】 ※電験3種対策に!	25,000円/1名 テキスト込
6月27日・7月4・11日(土) 全3回 9:30～12:40	◆電気の基礎理解【電力】 ※電験3種対策に!	25,000円/1名 テキスト込
5月23・30日(土) 全2回 10:00～15:30	昇降機工学 基礎理解 vol.1	30,000円/1名 テキスト込
6月6日・7月11日(土) 全2回 10:00～15:30	昇降機工学 基礎理解 vol.2 メーカーへ見学もあり	30,000円/1名 テキスト込
調整中	AIって? ※調整中	調整中

講座は、下記ホームページよりお申込み下さい。

https://www.kokuchpro.com/event/tdu_recurrent2020/

※本講座は、法人でお申込みいただくことも可能です。詳細はお問合せください。



編集後記

趣味が人を繋ぐとはよく言われていることですが、理事長と学生の囲碁対局は正にそれを表していると感じました。今月は新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら修了式・卒業式の様子をお届けすることができませんでしたが、修了生・卒業生皆さんの新天地での健やかなるご活躍をお祈りしています。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。